学校番号	２０６

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	数研出版「国語総合　現代文編・古典編」						
副教材等	意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社）　体系古典文法（数研出版）　古典文法ノート（数研出版）　精選漢文（尚文出版）　精選漢文ノート（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章を読んで、「読解力」や「感性」を養うとともに、「話す・聞く能力」を育成しコミュニケーション力の向上を図ります。また自分の考えを言語で的確に表現する力を育成します。
・様々な文章の読解テストを実施し、速読力も付けていきますのでしっかり取り組んでください。
・現代文では語彙力をアップさせるため、予習としての教材ごとの単語の意味調べや漢字小テストの準備にしっかり取り組んでください。
・古典では予習として、本文の音読し、本文をノートに写し、意味のわからない語句を古語辞典で調べておきましょう。文法的な意味と活用形、および接続も確認しながら授業を進めます。
・予習→授業→復習のサイクルをつかんでください。問題集などの提出物は期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨むようにしてください。
・繰り返し、学習に臨むことが大切です。文法書などを活用し自学自習を大切にしてください。

２　学習の到達目標

・国語を的確に理解・伝達するための基本的な語彙力・論理的思考力・表現力を養う。
・様々な文章の読解を通して、文章の構成や主題、登場人物の心情を理解する力や感性を育む。
・様々な文章の読解を通じて人間・社会・言語・文化等への関心意欲を高め、広い視野を持たせる。
・発表やプレゼン、討論の機会を通じて、自らの意見を正しく伝え合う力や相互理解の精神を養う。
・対象や目的や意図を的確に把握し、適切な表現で自分の意見・感想を記述できる力を養う。
・古文単語・古典文法・漢文句形などの基礎知識の定着をはかる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を率先して高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート、プリント、ワークシート	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント、ワークシート	・レポート・感想文など作成した文章 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート、プリント、ワークシート ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間	国語の力	【近代以降】 〈高校 3 年間で学ぶ内容や、身に付けたい内容について話し合う〉	○	◎			○	a:高校生活での授業を何のために、どのように学ぶのかを考えようとしている。 b:それぞれが考えた意見を話し合い、意見を交流している。 e:国語の授業で得るべき力とは何かを各自が考え、理解している。	a,b,e: 行動の観察と確認
	評論の読み方の基本を学ぶ	【近代以降】 教材: 「水の東西」 「ネットが崩す公私の境」	○			◎	○	a:評論の形式を考え、文章の筋道を進んで理解しようとしている。 d:考えの進め方や、文章の筋道を進んで理解している。 e:正しく理解し、評論の形式を理解している。	a:発言、行動の観察と確認 d: 発言、ノートの確認、定期考査 e:ノートの確認、定期考査
	随想を読む	【近代以降】 教材:「知の体力」	○			◎	○	a:筆者のものの見方や感じ方を読み取ろうとしている。 d:随想の表現の特色に注意して文章を読むことができる。 e:本文に使用されている言葉の使い方や漢字を正しく理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、ノートの確認、定期考査 e:ノートの確認、定期考査
	小説の内容を理解する	【近代以降】 教材:「羅生門」	○	○		◎		a:登場人物の心情の変化を捉えて、主題を読み取ろうとしている。 b:羅生門の登場人物の発言部分を読み取り、自分の意見をもって討論している。 d:　登場人物の心情の変化を捉えて、主題を読み取ろうとしている。	a:発言 b:発言、行動の観察と確認 d:発言、ノートの確認、定期考査

	古文入門	【古典】 教材: 説話『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 文法事項…歴史的仮名遣い、品詞、用言(動詞、形容詞、形容動詞)、体言、その他自立語	○			○	◎	a:古文の基礎的な文法事項について理解しようとしている。また古文の文章を積極的に読もうとしている。 d:登場人物のおかれた状況や心情を読み取っている e: 古文の基礎的な文法事項について理解している。	a:行動の確認、小テスト d:発言、ノートの確認、定期考査 e:小テスト、定期考査
	古文の随筆を読む	【古典】 教材:随筆『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」 「奥山に猫又といふものありて」 文法事項…助動詞(過去、完了、打消)	○			◎	○	a:随筆の面白さについて理解しようとしている。既習の文法事項を用いながら、内容を読み解こうとしている。 d:既習の文法事項を用い、内容を読み解き理解している。 e:助動詞の概念について理解し、過去、完了、打消の助動詞について理解している。	a:行動の観察と確認 d:小テスト、発言、ノートの確認 e:ワークシート、小テスト、定期考査
	漢文入門	【古典】 教材:「入門一・二」 『戦国策』「漁夫之利」 『十八史略』「管鮑之交」 句法等…語順、返り点、置き字、訓読	○			○	◎	a:教材に積極的に取り組み、進んで音読しようとしている。 d:漢文の内容を正しく理解している。 e:漢文の基本的な構造について理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、ノートの確認、定期考査 e:ノートの確認、定期考査
前期期末	詩の世界を味わう	【近代以降】 教材: 「I was born」 「サーカス」	○			◎	○	a:内容にこめられた作者の思いについて考えようとしている。 d:本文の内容にふさわしい音読をしている。 e:詩の形式について学び理解している。	a:発言、行動の観察と確認 d:行動の観察と確認 e:ノートの確認、定期考査

	本を紹介する	【近代以降】 〈本の内容について、意見をもち、考えを深めることを通して、読書感想文の書き方について学ぶ〉	○		◎	○		a:読んだ本の内容をまとめ、すすんで紹介しようとしている。 c:本の内容を正確に理解し、構成を考え自身の感想や意見をまとめている。 d:本の内容を理解し本に対する感想を明確に持っている。	a、c、d:提出物の確認
	調べてレポートにまとめる	【近代以降】 〈正確に情報をまとめ、自分の考えを論理的に構成することを通して、レポートの書き方を学ぶ。〉	○		◎		○	a:取り上げる問題をすすんで探し出し意見を持とうとしている。 c:取り上げる問題について、構成を考え、意見文をまとめている。 e:取り上げる問題を明確にするなど、レポートの要点を理解している。	a、c、e:提出物の確認
	評論の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「『わらしべ長者』の経済学」 「ものとことば」	○			◎	○	a:教材のしめすテーマについて積極的に考えている。 d:言葉の働きについて考えながら、本文の概要をつかんでいる。 e:教材のテーマを適切に理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、ノートの確認、定期考査 e:発言、定期考査
	歌物語の世界に触れる	【古典】 教材:『伊勢物語』 「芥川」「東下り」 文法事項…和歌の修辞、助動詞(断定、推量の一部、打消推量)	○			◎	○	a:歌物語について感心をもち、和歌を用いた表現の効果を考えようとしている。 d:場面の区切りを把握し、話の概略を理解している。 e:和歌の修辞を理解し、助動詞の断定、推量、打消推量の用法を正しく理解している。	a:行動の観察と確認、発言 d:発言、ノートの確認 e:小テスト、定期考査
	様々な漢文を読む	【古典】 教材: 『韓非子』「矛盾」 『戦国策』「狐借虎威」 『列子』「朝三暮四」 句法等…再読文字、否定形、疑問形の一部、反語形の一部	○			○	◎	a:登場人物の言動から、話にこめられた意図について考えようとしている。 d:句法の効果を考えながら、正しく本文の内容が理解できる。 e:古文で得た助動詞の知識を使いながら句法を理解し、正確に書き下すことができる。	a:発言、行動の観察と確認 d:発言、ノートの確認、定期考査 e:ノートの確認、小テスト、定期考査

後期中間	評論の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「時間と自由の関係」 「無痛化する社会の行方」	○	◎			○	a:文章の構成や展開に注意して評論を読み、自ら考えようとしている。 b:評論の内容に関して適切な自身の意見を持ち、意見を交流している。 e:評論の内容があらわすテーマについて正確に理解している。	a:発言、行動の観察 b:発言、行動の観察、確認 e:ノートの確認、定期考査
	小説の内容を理解する	【近代以降】 教材:「城の崎にて」	○			◎	○	a: 小説に描かれた出来事や登場人物の心情を表現に即して読もうとしている。 d: 主人公の心情を適切に理解しようとしている。 e:小説に使用されている漢字や表現技法を正確に理解している。	a:発言、行動の観察 d:発言、ノートの確認 e:ノートの確認、定期考査
	古文の日記文学を読む	【古典】 教材:『土佐日記』 「門出」 「帰京」 文法事項…助動詞(推量の一部、受身、使役、その他)	○			◎	○	a:作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:作品にこめられた作者の意図について考えている。 e:助動詞の用法について正しく理解している。	a:発言、行動の観察と確認 d:発言、定期考査 e:発言、小テスト、定期考査
	古典の物語文学を読む	【古典】 教材:『竹取物語』 「天人の迎へ」 文法事項…敬語の種類	○			○	◎	a:古文の敬語表現を理解しようとしている。 d:古文の敬語表現に留意しながら、内容を読んでいる。 e:古文での敬語表現の種類について理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、ノーとの確認、定期考査 e:小テスト、定期考査
	漢文の論説文を読む	【古典】 教材:『韓昌黎集』 「雑説」 句法等…疑問形の一部、反語形の一部、受身形、使役形	○			○	◎	a:漢文を音読し漢文のリズムに慣れようとしている。 d:正しく文法を用いて、訓読ができている。 e:句法をただしく理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、ノートの確認、定期考査 e:小テスト、定期考査

	思想に触れる	【古典】 教材:『孔子』「論語」 句法等…感嘆形、限定形	○			◎	○	a:漢文を音読し漢文のリズムに慣れようとしている。 d:簡潔な内容に含まれた孔子の考えや孔子の人柄をとらえようと考えている。 e:句法をただしく理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、ワークシートの確認、ノートの確認 e:小テスト、定期考査
後期期末	短詩形文学を味わう	【近代以降】 教材:「短歌」「俳句」	○		◎		○	a:短歌や俳句の形式や表現を味わおうとしている。 c:印象に残った歌や句の情景を思い浮かべ、その情景に即した感想文や絵をかけている。 e:短歌や俳句の修辞について正しく理解している。	a:行動の観察と確認 c:ワークシートの確認 e:発言、定期考査
	小説の内容を要約する	【近代以降】 教材:「富嶽百景」 〈長い文章の要点をおさえながら簡潔にまとめる方法を学ぶ〉	○		◎		○	a:長い文章を積極的に読み、まとめようとしている。 c: 長い文章を適切に、内容から逸脱することなくまとめている。 e: 要旨のまとめ方を学び、理解している。	a、c、e:提出物の確認
	評論の内容を理解する	【近代以降】 教材:「動的平行の回復」 「他者を理解するということ」	○			◎	○	a:文章の構成や展開の違いを確かめながら評論を読もうとしている。 d:文章の構成や展開を確かめて評論を読み、ものの見方や考え方を増やしている。 e:文章構成の展開の仕方に見える違いを理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、ノートの確認 e:定期考査
	古文の物語を読む	【古典】 教材:『平家物語』 「祇園精舎」 「木曽の最期」 文法事項…敬意の方向、助動詞の復習	○			○	◎	a:軍記の和漢混交文にふれ、リズムの違いを感じようとしている。 d:登場人物の心情を展開に即して読み取っている。 e:古文の敬語表現を正しく理解している。また、既習の助動詞の用法を正しく理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、定期考査 e:小テスト、定期考査

	古文の随筆を読む	【古典】 教材:『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」 「中納言参り給ひて」 文法事項:助動詞の復習	○			○	◎	a:随筆的文章を読み、当時の人々のものの感じ方や、思いをとらえようとしている。 d:登場人物の心情を展開に即して読み取っている。 e:既習の助動詞の用法を正しく理解している。	a:行動の観察と確認 d:発言、定期考査 e:小テスト、定期考査
	漢文を読む	【古典】 教材:『十八史略』 「鶏口牛後」 句法等…仮定形、抑揚形	○			◎	○	a:史話に描かれた情景や人物の心情などを、表現に即して読み、味わおうとしている。 d:話の展開に沿って、登場人物の言動や心情を考えている。 e:句法を正しく理解している。	a:発言、行動の観察と確認 d:発言、ノートの確認、定期考査 e:小テスト、定期考査
	漢文で書かれた詩を味わう	【古典】 教材:「絶句」「律詩」 句法…禁止形	○			◎	○	a:漢詩の決まりと表現の特色について学び、唐詩の世界に親しもうとしている。 d:描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの詩や文を読んでいる。 e:句法を正しく理解している。	a:発言、行動の確認と観察 d: 行動の観察と確認 e:発言、小テスト、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。